

Dream

気仙沼市立病院

看護職員募集案内

叶えたい夢を

ともに。



Interview 先輩看護師からのメッセージ

新人看護師



回復期リハビリテーション病棟
遠藤 萌絵さん
宮城県気仙沼市出身
2021年入職

技術と知識、コミュニケーション力を高め、一人ひとりにあった看護を提供したい

気仙沼市立病院は祖父が入院していたため、幼い頃から身近な病院でしたし、地域の中核病院として私たちが安心して暮らしていくためになくてはならない存在です。私も地域を支える仕事がしたいと思い入職を決めました。最初は不安もありましたが、研修制度が充実しており、プリセプターがについて看護技術をどの程度現場で経験できたかをチェックし、サポートしてくれるのでスムーズに仕事になじむことができました。

担当している回復期病棟では、他職種のスタッフやご家族など多くの方と関わる機会が多く、情報を聞く力や読み解く力、伝える力の重要性を実感しています。介助を必要としていた患者様が笑顔で退院される姿を見るとやりがいを感じるのと同時に、一人ひとりにあった支援ができる看護師になりたいと思うようになりました。



1年目の看護師の仕事への想いと現場での様子を紹介します。新人看護師(プリセプティ)を指導するプリセプターと看護部長からはそれぞれの立場で看護職をめざす皆さんへの応援メッセージをお届けします。

プリセプター



呼吸器内科・脳神経外科
高橋 菜瑠さん
宮城県気仙沼市出身
2016年入職

プリセプティが安心してのびのび働ける環境づくりが目標です

プリセプターの役割は、技術や病棟の仕事を間違いないように正しく教えることだと思っていました。しかし、プリセプティと日々の行動を共にし感じたのは技術の指導はもちろんですが、精神面のフォローが重要だということでした。

看護学校を卒業して初めての社会経験という看護師も多く、仕事や職場に慣れるだけでも一苦労です。私も振り返ってみると、プリセプターが寄り添って味方でいてくださったことがとても心強く、安心して仕事や環境に馴染めたように思います。

コロナ禍で実習を思うように行えず就職に不安や緊張を感じている方が多いかもしれません。当院では様々な研修制度を用意していますし、プリセプターが日常の業務のサポートとともに、学びのステップアップもフォローしています。

地域医療を担う病院で看護職として働くことは責任もありますが、大きなやりがいもあります。みなさんが安心してのびのびと力を発揮できるようにチームで支えますので、私たちと一緒に働きましょう!

勤務スケジュール 日勤、準夜勤、深夜勤の3つの勤務時間があり、チームでシフトを組んで対応します。

日勤の場合	準夜勤の場合	深夜勤の場合
<p>8:30 出勤、朝礼参加 申し送り、情報共有</p> <p>9:00 日替わり受け持ち 患者様へ挨拶 バイタルサイン測定 清潔ケア</p> <p>10:00 内服薬確認 処置</p> <p>11:00 昼食の準備 内服薬確認 血糖測定</p> <p>11:40 配膳</p> <p>12:00 下膳、 口腔ケア介助</p>	<p>13:00 昼休憩 ベッド周囲の環境調整</p> <p>14:00 家族面談(月、火) ADL評価(FIM) リハビリスタッフとの ADL評価(FIM)すり合わせ</p> <p>15:00 記録 更衣介助 ナースコール対応</p> <p>16:00 申し送り 更衣介助 ナースコール対応</p> <p>17:00 記録整理</p> <p>17:15 退勤</p>	<p>16:00 出勤 申し送り</p> <p>17:00 患者様へ挨拶 内服薬確認 デイルームへの誘導</p> <p>18:00 配膳、食事摂取量の確認 下膳、口腔ケア介助</p> <p>19:00 休憩</p> <p>20:00 巡回、状態観察 眠剤など内服薬確認 オムツ交換</p> <p>21:00 記録、ナースコール対応</p> <p>23:00 巡回、状態観察</p> <p>0:15 申し送り</p> <p>0:45 退勤</p>



休日の過ごし方
私はジャンルを問わず映画を観ることが好きなので、休日は家で映画鑑賞をしています。オススメしたいのはアニメ映画の「呪術廻戦」かな。



気仙沼のここが好き!
毎年8月第1日曜日とその前日に開催される「気仙沼みなとまつり」は花火や海上運航、パレードなどがある地域最大の夏祭りです。

のびのびと安心して学べるようにしっかりサポートします

笑顔と思いやりを忘れずに「来て良かった」と思ってもらえる看護を

当院は、地域唯一の急性期病院、小児・周産期医療を支える病院として地域の皆さんに長きにわたってご利用いただけてきました。地域の高齢化が進んだこともあり、平成29年の新築移転開院のタイミングで回復期リハビリテーション病棟を設置しました。患者様のADL低下を防ぎ「ちょっと入院、ずーっと在宅」を実現するため、地域と連携をしながらリハビリや退院支援にも力を入れてきました。

看護部が心がけているのは、患者様やご家族に寄り添い、丁寧に話を聞き、どんなニーズがあるのかを知ることです。そしてチームや多職種連携で24時間365日途切れることなく、想いに寄り添った看護を提供することが患者様の満足度向上につながり、ひいては看護職としてのやりがいにもつながるのだと思います。

当院では年間を通して研修制度があり、各部署の新人の状況に合わせ、スタッフ全員が支えていく風土も築かれています。笑顔と思いやりのある看護、「気仙沼市立病院に来て良かった」と思ってもらえる病院の実現に向けて、私たちと一緒に取り組んでみませんか。

看護部長



看護部長
水戸 恵美子さん
宮城県気仙沼市出身
1990年入職

Schedule 新人看護職員1～2年目スケジュール

入職後は合同オリエンテーション研修、看護部対象の集合研修をはじめ、習熟度に合わせて様々な研修があり、病院全体で新人看護職員が職場に対応できるような体制をとっています。

4月/集合研修 感染防止



4月/集合研修 他部署研修



4月/おむつ研修



9月/BLS研修



2年目/ミーティング研修



2年目/ケーススタディ発表会



1年目

2年目

4月

5月

6月・7月

8月・9月

10月・11月・12月・1月

2月・3月

6月・7月

8月・10月

11月・1月

- 新規採用者
オリエンテーション
- 集合研修
- 看護部補足研修

- 輸液ポンプの
操作・取扱い
- 褥瘡研修

- フォローアップ研修①
- 輸血研修

- 気管内挿管と
吸引研修
- BLS研修

- フォローアップ研修②③
- KYT研修、がん化学療法研修
- 入退院支援研修

- フォローアップ研修④
- 看護部長から修了書授与

- ケーススタディ
オリエンテーション
- ミーティング研修①
- ローテーション
研修オリエンテーション

- ローテーション研修
- ミーティング研修②

- ケーススタディ発表会
- ミーティング研修③

4月/移乗・移動研修



4月/導尿研修



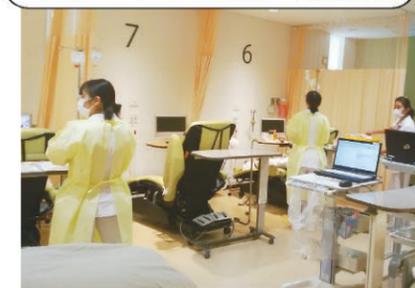
7月/輸血研修



11月/がん化学療法研修



2年目/ローテーション研修 化学療法室



2年目/ローテーション研修 GW



オリジナルのサポート体制 キャリア開発ラダー

「キャリア開発ラダー」は、計画的かつ段階的に、個人の能力の向上とキャリアアップを目指すためのサポートシステムです。

ラダー表 毎年評価

- 自己の振り返り
- 自己の方向性
- なりたい自分
- なりたい助産師・看護師
- 成長のものさし
- 課題レポート

目標管理 目標管理シート

- キャリアカウンセリング
- 面接
 - ・組織のニーズ
 - ・個人のニーズ
 - ・個人ファイル

現任教育の 3本柱

- 院内研修
- 院外研修
 - ・学会
 - ・院外活動
(授業、地域講習会)
- 自主研修

チャレンジするあなたを応援！ キャリアアップについて

認定の資格をとることで専門性を極め高度な知識と技術を身につけることができ、看護職を続ける中でやりがいにもつながると思います。そんなチャレンジをしたい方に当院では、資格取得を助成(研修中の給与補償、資格取得に必要な費用分を負担)します。



Department 部門紹介



外来

外来部門はA～Gブロックに分かれており各外来で患者様に医療を提供しています。医師、助産師、看護師、看護補助者、医療事務、医師事務補助者、医事課と協働し、安全安心な外来看護を目指し日々、奮闘しています。気仙沼市立病院に来て良かったと思っていただけるよう患者様に寄り添うケアを心がけています。問診、診察時は笑顔で声がけし、分かりやすい言葉でご説明するようにしています。苦痛がなく安心して治療が受けられるよう他職種と連携を図っています。患者様が笑顔でご帰宅できるよう一緒に頑張りましょう。お待ちしております。

産婦人科病棟 ※助産師業務

3階西病棟は混合病棟です。宮城県中部から岩手県南における安全安心な出産をサポートしています。女性のライフスタイルの中で出産は最も輝かしいイベントの一つです。私たち助産師は、「産婦さんに笑顔を!安心でより良い出産と育児を!」をモットーに、日々自己研鑽に励んでいます。病棟は個性豊かで楽しいスタッフばかりです。卒後教育も充実しており、新人助産師にはマンツーマンできめ細やかな指導を行っています。医師との連携もよく、生き生きとやりがいを持って働き続けられる職場です。



回復期リハビリテーション病棟

6階西病棟は回復期リハビリテーション病棟です。脳血管障害や大腿骨骨折などの患者様が入院し、日常生活能力の獲得や自宅復帰を目的として、集中的なリハビリテーションを行っています。医師・看護師・介護福祉士・看護補助者・セラピスト・社会福祉士・管理栄養士などの多職種が協働し、患者様やご家族と目標を共有して退院支援を行っています。病棟は和やかな雰囲気、スタッフ間のチームワークを大切にしています。患者様が元気に笑顔で自宅退院できるように一緒に頑張りましょう。ぜひお待ちしております。



Specialist 認定看護師について

認定看護師とは

公益社団法人日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野において習熟した看護技術と知識を有することを認められた看護師のことをいいます。高度化・専門化が進む医療現場において看護ケアの広がり看護の質の向上を目的としています。認定看護師になるには、通算5年以上の実務研修を経て教育機関での教育を受け、認定審査にパスする必要があります。

気仙沼市立病院では、感染管理、皮膚・排泄ケア、緩和ケア、がん化学療法の4つの分野に6名の認定看護師がおり、各分野で実践・指導・相談の役割を担い、部署を超えて日々活躍しています。



Interview 資格を取得した先輩たちの声

がん化学療法認定看護師



佐藤 紀子さん
宮城県気仙沼市出身
2002年入職

住み慣れた地域で安心して治療に向き合える看護を提供

家族が「がん」に罹患するまで、化学療法や副作用がどんなものか理解していませんでした。知識を習得して一緒に取り組んでいけば、身体面・精神面をもっと支えられたのではと後悔しています。同じ思いをする人をなくしたいと「がん化学療法認定看護師」になりました。外来・病棟問わず化学療法や副作用等の相談を受ける機会が増え、患者様と家族の生活や人生観にもより深く目を向けることができるようになりました。住み慣れた地域で安心して治療が継続できるようにさらに水準の高い看護の提供を目指したいと思います。

皮膚・排泄ケア認定看護師



小野寺 幸枝さん
神奈川県横須賀市出身
2001年入職

信頼される看護師、医療・介護・福祉をつなげる顔に

ストーマケアなどは生活全般に関わることであり、相談しにくい部分でもあります。だからこそ患者様に信頼してもらえる知識と技術を持つことが大切です。新人の頃、ストーマケアがうまくできない患者様について皮膚・排泄ケア認定看護師に相談したことがありました。すぐに問題解決し、患者様の信頼を得ているのを目の当たりにして、認定看護師を目指しました。高齢化が進む今、病気だけでなく、生活や患者様の人生観も理解した上での看護が必要です。得意なWOC分野を活かし、医療・介護・福祉を横断的につなげる顔になれるように頑張ります。



Map



交通

🚗 JR気仙沼駅よりタクシー約10分(R45経由)

🚗 JR不動の沢駅よりタクシー約8分

気仙沼市立病院

〒988-0181

宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢8-2

TEL 0226-22-7100(代表)

FAX 0226-22-3121



<https://www.kesennuma-hospital.jp/>

気仙沼市立病院 🔍